

平成27年度第1回平塚市地方卸売市場運営審議会 議事録

日時：平成27年（2015年）8月20日（木）午後1時30分～午後3時00分

場所：平塚市漁業協同組合2階会議室

出席者：11人 関いずみ委員・臼井照人委員・内堀祐一委員・磯村重子委員・鈴川裕子委員・宇田川哲由委員・梅原勝之委員・山下穰一委員・高橋文久委員・田中邦夫委員・高橋裕委員

開会

1 産業振興部長あいさつ

2 議題

(1) 副会長の選出について

副会長に臼井委員が選出された

(2) 平成26年度市場の取引状況について

〈事務局〉（平成26年度市場の取引状況について説明）

〈委員〉 地元水揚鮮魚の取扱量について、サバが多い年は全体の取扱量も多くなるとのことだが、平塚で獲れるサバの種類はマサバ、ゴマサバのどちらか。

〈事務局〉 平塚の市場ではマサバ、ゴマサバによる分類は行っていない。大きさに差をつけている。

〈委員〉 サバの単価は安い、全国では付加価値がつき単価が上がるサバもある。平塚で獲れたサバに付加価値をつけていく取り組みはないのか。

〈事務局〉 サバの鮮度保持向上の取り組みを行っているが、まだ商品化には至っていない。

〈委員〉 商品化実現はいつになると考えているか。

〈事務局〉 鮮度保持向上の取り組みについては、あわせて販路の拡大も考慮しなければならない。鮮度保持向上の技術は手間がかかるため、生産者に技術を習得してもらわなければならない。魚屋が作ったしめさばが好評であり、惣菜として販売できないかという話もある。付加価値のついたサバの商品化がいつ可能となるかについてはこれからの課題である。

〈委員〉 魚屋が作るしめさばは平塚で獲れたサバであることを宣伝にしているのか。

〈事務局〉 現在しめさばを販売している場所は湘南ひらつかふれあいマーケットであり、地場産の魚を主に売っている場所なので、平塚の魚で平塚の魚屋が作った物であることを売りにしている。魚市場が切り身加工したものを学校給食で使うこ

ともある。ロットをそろえるのが難しく、漁獲量、加工可能な量の平準化も課題の一つである。

- 〈委員〉 魚は海の中を動くが、獲れるところに漁師が集中して近隣の漁師間でトラブルが起こったりしないのか。
- 〈事務局〉 平塚の漁獲量の中で多くの割合を占める漁に定置網がある。定置網は魚を追いかけて獲る漁ではなく、海に網を設置して魚を獲る漁となる。また、サバの漁法は一般に巻き網、定置網、一本釣りがあがるが、漁業法や漁業調整規則等の制限を受ける漁法もある。

(3) 第67期 株式会社 平塚魚市場の決算報告について

- 〈委員〉 (第67期計算書類について説明)
- 〈委員〉 (質問等なし)

(4) その他

- 〈事務局〉 (魚のアピールについて平塚市の取り組みを報告)
- 〈委員〉 地産地消について、地域の中に入って企業等と連携をとってPRすることについてはどう考えるか。
- 〈事務局〉 まずは各種イベントに参加してPRすることを考えている。お店に直接PRすることについては、平塚市漁業協同組合が地魚を使ったお店にのぼりを置くことでPRを行っている。また、平塚市漁業協同組合自身で地魚を使った干物の販売を行っている。他には企業祭でのPRや、料理飲食店と協力して製品を作ることもある。なお、魚食普及協議会の活動は地魚に関わらず魚食全体の普及に努めている。
- 〈委員〉 道の駅やららぼーと等大きな物ができると、小さな店は商売がやりにくくなる。
- 〈委員〉 平塚市漁業協同組合では地どれ魚直売会を行っており、地魚の販売を行っている。
- 〈委員〉 地産地消はエコであることを子供たちに教えている。子供は魚離れしているため、ふれあい給食等で子供たちに魚を提供できれば良いと思う。平塚の魚にもブランドがつけば良いと思う。
- 〈委員〉 魚屋で捌き方や、食べ方の提案等やってもらえると買い物しやすいと思う。イベントとしての捌き方教室ではなく、近くの魚屋が普段の営業の一環として捌き方等を教えてくれると助かる。また、地引網については平塚市漁業協同組合でイベントを行っているとのことだが、そういった情報が常に流れてくるとありがたい。

- 〈委員〉 現状、地引網ではコストの割に魚が獲れないと思う。市場の敷地で干物屋、漁師、市場等水産関係者が連携した食堂を作った方が人が集まると思う。
- 〈委員〉 魚の捌き方については、現在でも声を掛けてもらえればほとんどの魚屋が教えると思う。
- 〈委員〉 魚離れが激しいと言われているが、魚まつり朝市には多くの人が来場しており、魚を食べる人は多いのだと感じている。水産関係者が一体となって魚食の普及に努めていきたい。
- 〈委員〉 昔は市場も魚を買った人も生産者も皆が儲かっていた。今はそういった側面が無くなっているところがある。
- 〈委員〉 どこに魚屋があるのかを知ることが出来ると良いと思う。
- 〈事務局〉 魚屋さんマップというウェブページがあるので参考にしてほしい。
- 〈委員〉 須賀地区の活性化の構想があると聞いている。ポテンシャルを持っている須賀地区を素通りさせないようにハード面の向上も含め行政に模索してほしいと考える。
- 〈委員〉 5年後、10年後の平塚の漁業について一般の消費者を含めて考える仕組みが必要だと感じた。大規模ではなく、小規模だからこそ儲かる水産業があれば良いのではないか。ウェブページの啓発等小さなところから考えていく必要がある。平塚の水産業は可能性があると思うのでその可能性の伸ばす仕組みを考えなければならない。
- 〈委員〉 新湘南バイパスを降りたところにある歩道橋について、茅ヶ崎側には茅ヶ崎市をプロモーションする横断幕が貼ってある。平塚側にも貼れないか。
- 〈事務局〉 持ち帰って担当部署に話をする。
- 〈事務局〉 卸売業者にもふれあい給食へ参加してもらえないか。
- 〈委員〉 検討する。

閉会